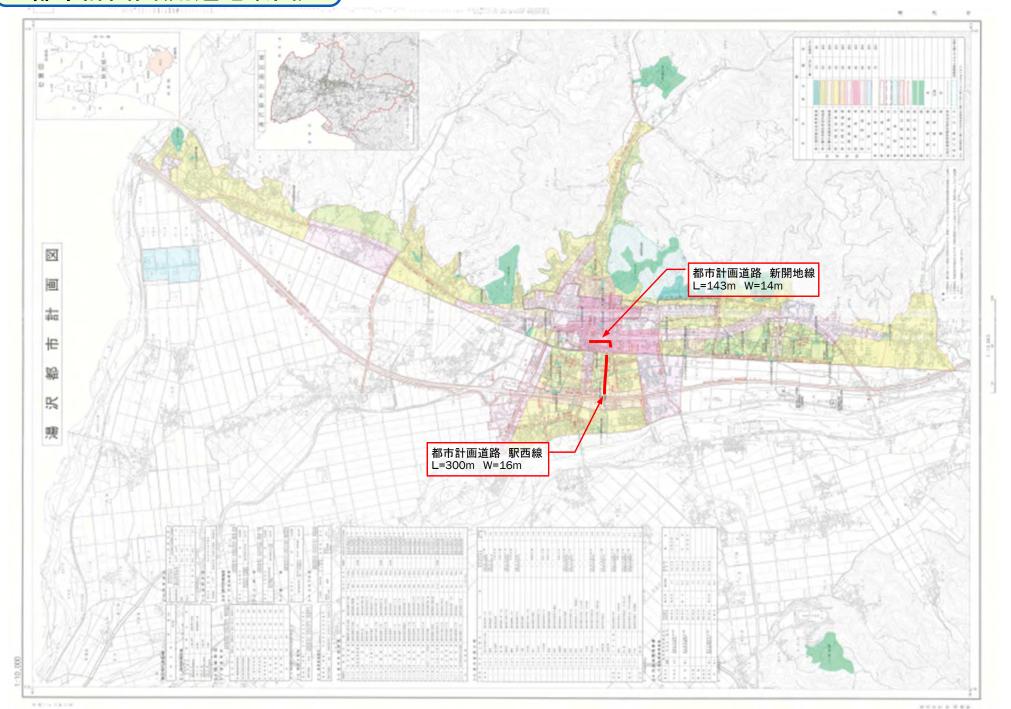
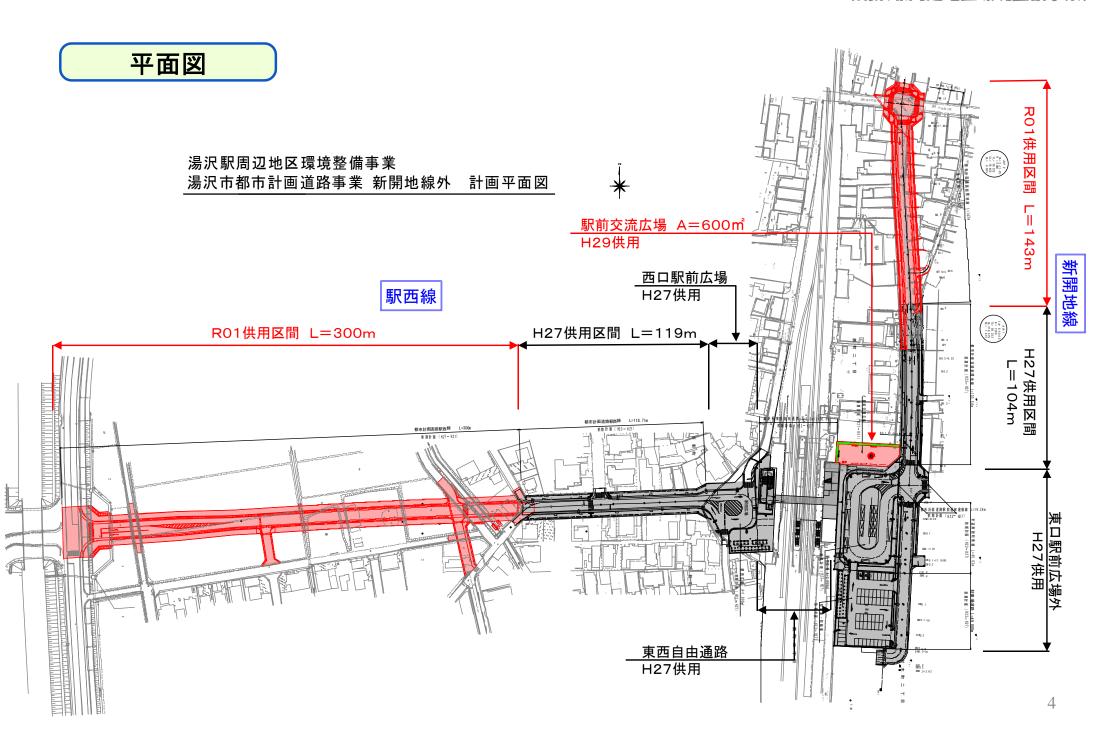
# 事業概要

応募No.	4					
事業主体	秋田県	湯沢市		実施都市名	秋田県	湯沢市
応募者名	湯沢市建設部都市計画課					
ふりがな 事業名称	ゆざわえきしゅうへんちくかんきょうせいびじぎょう (としけいかくどうろ しんかいちせんおよびえきにしせん) 湯沢駅周辺地区環境整備事業 (都市計画道路 新開地線及び駅西線)					
事業概要 (400字以内)	湯沢市の中心部に位置するJR製物、業線湯沢駅周辺地区の交通結節点機能の向上と、鉄道により分断された湯沢駅東西地区の一体化を図ることを目的として平成23年度に着手した湯沢駅周辺地区環境整備事業において、湯沢駅東西自由通路の整備とそれに伴う湯沢駅舎の改築とともに湯沢駅周辺の都市計画道路新開地線と同駅西線の改築を実施した。事業総延長は新開地線247m、駅西線が419mで、両路線ともに平成27年度の湯沢駅東西自由通路と湯沢駅舎の完成にあわせて一部区間の改築を完了し、その後残る区間の工事を進め令和元年12月に事業区間すべてを供用するに至った。新開地線は湯沢駅東側の交通の円滑化と回遊性を向上させ、駅西線は湯沢駅と湯沢横手道路湯沢IC間のアクセス性の向上と良好な居住空間の形成をもたらしており、平成30年3月策定の立地適正化計画に基づく集約型都市構造の形成において重要な都市基盤となっている。					
事業規模	事業延長	新開地線 L= 駅前交流広場	143m(総延長L=247 A=600m2	m)、駅西線 L=300	Dm(総延長L	.=419m)
	幅員	新開地線 W=	-14m、駅西線 W=16	m		
	事業期間	平成27年度~	一一一一一一一一一 令和元年度			
	事業費	新開地線 C=	574百万円、駅西線 C	=379百万円		

## 業 位 置 义 沖鶴 体育館 文化会館 鶴館 元清水 (四) 町日 元清水 湯ノ原「(二) 清水町 清水町 佐竹町 裏門 都市計画道路 新開地線 岡田 L=143m W=14m 事業箇所 都市計画道路 駅西線 L=300m W=16m 秋田県湯沢市 日荒 石占 300 m

第33回全国街路事業コンクール応募資料

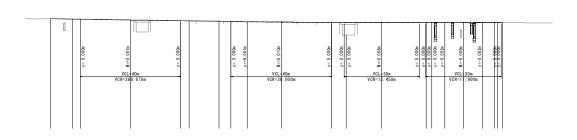


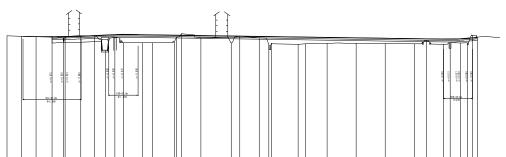


# 縦断図•横断図

## 新開地線 縦断図

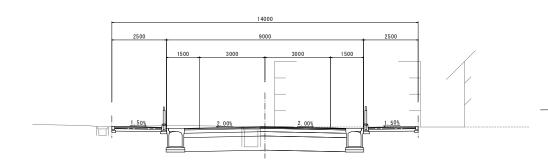
## 駅西線 縦断図

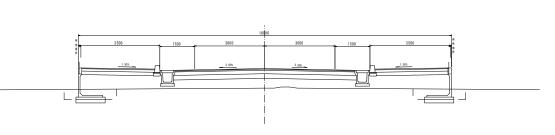




## 新開地線 標準断面図

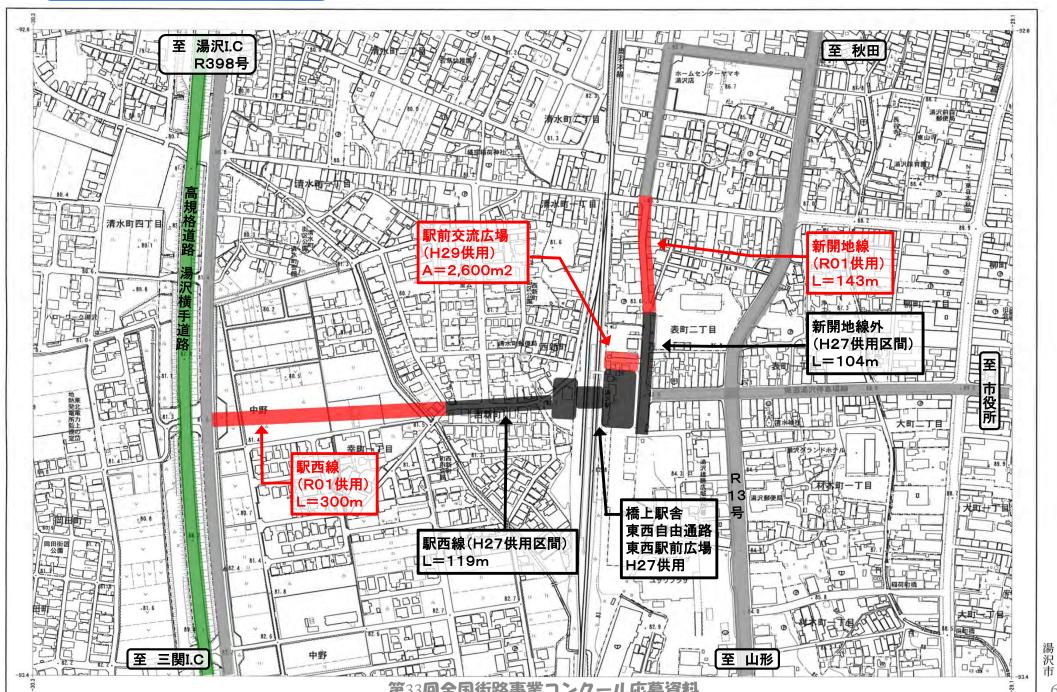
## 駅西線 標準断面図





#### (湯沢駅周辺地区環境整備事業)

## 路線全体の進捗状況



#### (湯沢駅周辺地区環境整備事業)

# 新開地線 事業前写真



平成27年1月撮影



平成27年1月撮影



平成27年10月撮影

# 新開地線 事業後写真



令和元年9月撮影



令和元年9月撮影



令和元年9月撮影

#### (湯沢駅周辺地区環境整備事業)

# 駅西線 事業前写真



平成27年10月撮影



平成27年10月撮影



平成27年10月撮影

# 駅西線 事業後写真



令和2年9月撮影



令和2年9月撮影



令和2年9月撮影

## 事業効果アピール資料

街路事業(駅西線、新開地線、 東西自由通路、 駅前広場、 駅西広場、駅前駐車場・駐輪場)

#### 秋田県湯沢駅周辺整備により中心市街地の利便性、 魅力アップへ!

#### 東西自由通路 (H27完成)

自由通路通行量 594人•台/日

(H27.12.25~R02.9.30平均值)



# 完成した J R 湯沢駅 東口 四直浪器 にぎわう駅前交流広場





狭隘で交通量の多い危険な踏切 駅東西間の移動時間が大幅短縮!

東西自由通路の完成により駅東西間 の移動の利便性が向上

完成後 3分 7分(490m)短縮



#### 秋田県湯沢市における まちづくりの課題

#### 深刻化する人口減・少子高齢化

平成52 (2040) 年の将来推計 人口28,396人 (平成22年比 44%減)、高齢化率48.1%

特に中心部において市全体を上回る勢いで人口減が進行中 中心市街地の活力・魅力の低下

- ○中心商店街が抱える課題 空き店舗増による商店街連続性の欠如、建物や アーケードの老朽化、共同駐車場の不足 など
- ○中心商業地域としての機能の低下 中心四商店街の商品販売額

H9:10,245**百万丹**  $\rightarrow$  H19:3,649**百万丹** (64%i)市商品販売額のうち四商店街が占める割合

H9:15.4% → H19:7.4% (**半減**)

#### 今後期待される効果

- ◆鉄道による市街地分断の解消(整備済み)
- ◆交通結節機能の強化と利便性の向上
- ◆定住人口の確保も含めた中心市街地の再生 &活性化

交流人口の拡大を目指す!

#### 持続可能な都市を形成するための まちづくり計画

◆都市計画マスタープランの見直し 立地適正化計画の策定



#### 今後のまちづくりへの取り組み

◆駅東地区において、複合施設整備事業に 向けた計画を策定中

## 事業効果アピール資料

街路事業(駅西線、新開地線、東西自由通路、駅前広場、駅西広場、駅前駐車場・駐輪場)

# 秋田県湯沢駅周辺整備により中心市街地の利便性、魅力アップへ!

#### 駅西線、新開地線の未整備区間整備により湯沢駅へのアクセスを一層強化!!

駅西線(H27~R1)

- ・改良整備により、安全・円滑な通行を確保!
- ・中心市街地と周辺地域との連携・交流を促進! ・まちの魅力向上、活性化などの都市活力の向上を図る

新開地線(H27~R1)





駅前交流広場の活用状況









第33回全国街路事業コンクール応募資料

## 事業効果アピール資料



## 苦労や工夫等アピール資料

## 【新開地線、東西自由通路、駅西線】

- ○街路整備により湯沢駅を起点とした、中心商店街・イベント会場への誘客やアクセス性が向上できるようにした。
- ○駅前交流広場、駅前広場を活用した、玄関口としてのおもてなし。これにより、祭りやイベントへの期待感が向上した。 【一冊 / ベンパトに関えず、駅間に入れたおより、中ではなって上の同業、本法が保護されている。



## 受賞歴•報道資料



R01.12.21 秋田魁新報

# ₩ 47行政ジャーナル

[秋田] 湯沢市「駅西線」が開通、高速道路との接続強化 市の整備事業、にぎ わい創出期待

2019/12/21 11:17

秋田県湯沢市の湯沢駅周辺地区環境整備事業で、2011年度 に整備を始めたJR湯沢駅西側の「都市計画道路駅西線」が20 日、開通した。駅周辺の交通結節点機能の向上や、にぎわい創出 が期待される。

開通したのは、湯沢インターチェンジ(IC)から接続する市道と湯沢駅を結ぶ直線道路(延長約420メートル、幅員16メートル)。ICから湯沢駅へのアクセスが強化され、駅西側の交通利便性が高まった。11~15年度の前期計画で整備した駅近くの118・7メートルは供用済み。後期計画で残り300メートルの整備を進めてきた。総事業費は9億8千万円。



20日に開通した湯沢市の駅西線

20日午後3時、10月に供用済みの一部区間を除く233・8メートルの供用を開始した。市都市計画 課は「周辺では宅地分譲が始まっており、道路整備の効果を実感している。経済、産業活動の活性化に期待 したい」と話す。

同事業は市町村合併後の重点施策の一つとして市が11年度に着手。東西自由通路新設を含めた湯沢駅舎 改築や、周辺道路の改良を行ってきた。駅西線の開通に伴い、事業で計画されたハード整備が全て完了し た。

R01.12.21 47行政ジャーナル